

平成26年度2月補正予算案

主な事業概要

(国補正予算関係)

琵琶湖環境部

事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明
<p>【環境政策課】</p> <p>環境政策推進費</p>	<p>3,193 (29,682)</p> <p>国 3,193</p>	<p>創1 びわ湖国際環境ビジネス人材育成事業 3,193</p> <p>滋賀・京都等の大学に在籍しているアジアの留学生を対象に、琵琶湖での水環境保全の取組や知見を活用し、環境ビジネス推進に向けた人材育成研修を実施する。</p> <p>0 → 3,193</p> <p>国補正予算を活用した事業の実施</p>
<p>管理運営費 (琵琶湖博物館)</p>	<p>6,482 (307,843)</p> <p>国 6,482</p>	<p>創1 琵琶湖・烏丸半島魅力向上活性化事業 6,482</p> <p>琵琶湖博物館や水生植物公園みずの森、道の駅グリーンプラザからすまなどの施設が集積している琵琶湖・烏丸半島エリアにおいて、各施設が連携し、集客を図ることによって、地域の活性化につなげる。</p> <p>0 → 6,482</p> <p>国補正予算を活用した事業の実施</p>

事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明
<p>【森林政策課・森林保全課】</p> <p>林産物生産流通振興対策費</p>	<p>6,000 (5,685)</p> <p>国 6,000</p>	<p>創1 県産材販路確立支援事業 6,000 県産材の利用促進のため、滋賀県森林組合連合会の安定供給取引協定に基づく取引の際に森林組合が負担している手数料の一部を支援する。</p> <p>0 → 6,000 国補正予算を活用した事業の実施</p>
<p>湖国のみどりづくり推進事業費</p>	<p>30,000 (2,781)</p> <p>国 30,000</p>	<p>創1 森のしごとびと育成事業 26,000 県有地において森林整備作業等の技術取得のための研修を行うなどにより、山村地域での人材の育成・定着に向けて取り組む。</p> <p>0 → 26,000 国補正予算を活用した事業の実施</p> <p>創2 森の地域資源利活用推進事業 4,000 山村の活性化をめざし、山村地域の埋もれた森の資源を発掘することにより、雇用や産業の創出に取り組む。</p> <p>0 → 4,000 国補正予算を活用した事業の実施</p>
<p>林業・木材産業高度化対策費</p>	<p>249,505 (0)</p> <p>国 249,505</p>	<p>1 高性能林業機械整備事業 9,000 効率的・効果的な間伐等の森林整備を実施するため、高性能林業機械等の導入を図る。</p> <p>0 → 9,000 国補正予算を活用した事業の実施</p> <p>2 木造公共建築物等整備事業 240,505 木造公共建築物の木造化を推進して、県産材の需要拡大と林業および木材産業の振興を図る。</p> <p>0 → 240,505 国補正予算を活用した事業の実施</p>

事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明
森林整備加速化交付金事業費	<p>63,900 (0)</p> <p>国 63,900</p>	<p>1 未利用間伐利用促進対策事業 40,000 未利用間伐材等の利用のため、伐倒・集材等を実施する。</p> <p>0 → 40,000 国補正予算を活用した事業の実施</p> <p>2 路網整備事業 20,000 木材の安定的・効率的な生産・供給に不可欠な路網の整備を行う。</p> <p>0 → 20,000 国補正予算を活用した事業の実施</p> <p>3 協議会運営費 3,900 地域協議会の運営や所有者不明森林の状況調査を行う。</p> <p>0 → 3,900 国補正予算を活用した事業の実施</p>
林野関係公共事業	<p>— (3,218,500)</p> <p>起 10,100</p> <p>⊖ △10,100</p>	<p>1 補助治山事業費 — 森林における災害の復旧・予防を行う。</p> <p>2,343,500 → 2,343,500 国補正予算の内示に伴う財源更正</p>

事業名	補正予算額 (現計予算額)	説明
<p>【流域下水道事業特別会計】</p> <p>淡海環境プラザ管理 運営費</p>	<p>9,972 (61,550)</p> <p>繰 9,972</p>	<p>創1 淡海環境プラザにおける水環境技術情報の集積と発信 9,972 淡海環境プラザの有効活用を図り、県内企業の水環境ビジネス展開を推進するため、水環境技術情報のワンストップ・サービスの展開と、水環境技術情報の発信を行う。</p> <p>0 → 9,972 国補正予算を活用した事業の実施</p>